

2月28日(水)「万句のふるさと菊池」の俳句・短歌、最優秀賞を表彰

菊池市教育委員会では、「万句のふるさと菊池」と名づけた新規事業を立ち上げ、市内の小中学生から俳句と短歌を募集しました。このほど、その入選作品がまとめられ、最優秀賞受賞者については、菊池市福祉会館で表彰式が行われました。

今回の募集では、俳句 2,438 句、短歌 310 首、計 2,748 の作品が寄せられ、4人の審査員によって選ばれた 123 の入賞作品が句・歌集にまとめられました。タイトルは、これも重朝公の句にちなみ「月松」(げっしょう)と付けられ、隈府在住の泉雄一さんによる表紙絵と題字を得て、趣きのある仕上がりになりました。「月松」は 1,000 部作られ、各学校などに贈られます。



句・歌集「月松」を手にした最優秀賞受賞者の小・中学生たち

平成 18 年度「万句のふるさと菊池」入賞句・歌集 (最優秀賞)

俳句の部 (小学校低学年)

- せおよぎがはじめてできたなつやすみ
隈府小学校 2年 大つかま子
- あきなすのりょうりをつくったおばあちゃん
隈府小学校 2年 野田ちひろ
- ひみつきちどんぐりがある竹がある
旭志小学校 2年 いわねゆうへい

俳句の部 (小学校高学年)

- 冬の夜はまあるい月も凍えてる
隈府小学校 6年 高野まりあ
- くらだけの頂上で見る秋の空
水源小学校 6年 佐野木優希

- 山頂へ着いたその時秋の空
戸崎小学校 6年 橋谷 渡

- 流れ星速くて言えない願いごと
花房小学校 6年 岡崎わかな

- 満月に照らされひかるすすきのほ
泗水小学校 6年 古川秋桜

俳句の部 (中学校)

- ひまわりのさくころになると思い出す
菊池北中学校 2年 本藤さやか

- にじの色七つそろってにじになる
菊池南中学校 1年 岩崎大貴

- 紅葉と一緒に写る金閣寺
七城中学校 3年 瀬口美里

- 暗闇に横顔てらす花火かな
七城中学校 3年 長尾恵子

- 甲子園ハンカチ王子の汗光る
旭志中学校 3年 江上太康

短歌の部 (小学校 1~4 学年)

- どんぐりのベッドはきれいなおちばだよいろはきれいとにんきのベッド
菊池北小学校 4年 礮本祐里恵

短歌の部 (小学校 5・6 学年)

- 塩酸はアルミニウムをとকাশます理科の実験不思議な世界
龍門小学校 6年 稲葉悠人

- 沿道の聞きおぼえある声援に背中おされて走りゆくわれ
戸崎小学校 6年 中尾茉琴

短歌の部 (中学校)

- 秋桜清く咲きたびーゼルに描き込まれては美しゅう咲く
菊池北中学校 1年 笠原千愛

- いつからか君を呼び捨てにする僕がいて心近づく春が聞こえた
旭志中学校 2年 中川勇樹

3月3日(土)第2回菊池市「わんぱくひろば」

2回目となる「わんぱくひろば」が開催されました。これは、市内の小中学生を対象に、ウォーキングをしながらクイズや運動を楽しむウォークラリー形式で実施されたもので、23 チーム、約 140 人が参加しました。

参加者は、午前9時 30 分からチームごとに菊池市中央公民館前をスタートし、市民広場(中央グラウンド)から菊池神社、多目的グラウンド、木庭城址(昼食)、戸崎城址、弁財天、北宮阿蘇神社、そして再び公民館まで約 8km の行程を、各チェックポイントに設けられたクイズや輪投げ、ミニバイクなどに挑戦しながら全員が完歩しました。

子どもたちだけのチームや保護者も一緒に参加するチームもあり、中には子どもたちの元気に負けて、大人の方が歩き疲れるような場面も見られました。

また、業務運営のボランティアとして、市内の高校(菊池高校・菊池農業高校・菊池女子高校)から参加した生徒たちは、子どもたちのよきお兄さん・お姉さんとして手伝ってくれました。

当日は、春先の好天にも恵まれ、参加者は心地よい汗とともにゴールしました。



菊池公園で輪投げを楽しむ参加者

2月27日(火)玉祥寺このみや踊り

菊池市玉祥寺にある春日神社で、市の無形民俗文化財に指定されている「このみや踊り」があり、たくさんの地元区民などで賑わいました。

同神社の例祭前夜の2月 27 日に合わせて毎年行なわれているもので、「このみや」の意味や由来、起源などはよく分かっていないものの、約 550 年前から伝わる神事とされています。

祭りは、どてらに編み笠、腰にずだ袋、背中にきねを背負った奇妙な格好の御大将 2 人が監視する前で、姉さんかぶりにタスキがけの女装した男衆 2 人が太鼓をたたきながら「アレンテナー コレンテナー」との声に合わせて踊る、素朴かつユーモラスなもので、見物客の笑いを誘っていました。

踊りが終わると、区民の安全と五穀豊穡を祈って手締めをし、親睦を深める宴もありました。

春日神社の境内であった「このみや踊り」で舞う女装した男衆 2 人



3月7日(水)韓国清原郡との友好都市締結調印式

菊池市は、かねてより友好交流を深めていた韓国清原郡と友好都市締結の調印式を行いました。

清原郡との交流は、旧菊池市時代の平成 16 年にはじまります。観光客倍増を目的に九州地域における韓国人のノービザ提唱を進めながら、国際交流の推進を図るため、韓国との交流都市締結を望んだところ、菊池市と産業、地理的によく似た韓国忠清北道清原郡を紹介されました。

その後、行政における視察訪問、友好都市へ向けた協議を経て、平成 17 年 2 月 17 日に「友好交流都市宣言」を行いました。

また近年は、ホームステイによる中学生同士の相互交流を行うなど、民間レベルでの交流も深めています。

そのような背景から、3月 7 日に新菊池市として、改めて友好都市締結を行ったものです。

今回、清原郡からの訪問団は、金在彘(キム・ゼウク)郡守、金昶洙(キム・ギョンス)議長を始めとする 11 人で、限られた日程ではありましたが、調印式の合間を縫って、菊池溪谷や鞠智城を見学したほか、七城メロンドームでは農業視察研修を行うなど、充実した「菊池市の日々」を過ごしました。

今後は、各種研修、文化・スポーツなど幅広い交流を深めていきます。

●大韓民国忠清北道清原郡(チュウセイホクドウチョンウオンゴン)

○友好都市締結日

2007 年(平成 19 年) 3 月 7 日(水)

○金堤市の概要 清原郡は韓国国土のほぼ中央部に位置し、ソウルから車で約 2 時間位の所です。人口約 140,000 人、面積は 814 平方キロメートルと、菊池市の約 3 倍の広さです。主な産業は農業であり、米、野菜、人参、梨などの栽培が盛んです。国土の中心部に位置し、観光資源も豊富で、交通条件もよいことから、「幸福一番地」というキャッチコピーで PR し、近年は化学産業が進み未来都市としても発展し、人口も増加しています。

3月2日(金)村上忠吉団長が消防庁長官定例表彰で功績章を受章

消防庁長官定例表彰が東京・ニッショウホールであり、永年にわたる消防団活動の功績を称え、菊池市消防団の村上忠吉団長(☉ 下出田)が功績章を受章しました。熊本県内での現職消防団員の受章は 1 人だけでした。

村上団長は、昭和 42 年 4 月に菊池市消防団に入団し、平成 10 年 4 月から菊池市消防団長に就任。永年の知識や経験に基き、市民の生命・身体・財産を火災等の災害から守るという使命を深く認識し、日頃から消防団活動を行っています。今回の受章は、このような永年の消防活動への貢献が顕著であると認められたものです。

村上団長は「今後も引き続き、地域の安心・安全を守る消防団活動を行いたい」と抱負を述べました。



消防庁長官定例表彰で功績章を受章した村上団長



協定書に署名をする金郡守(左)と福村市長(右)